

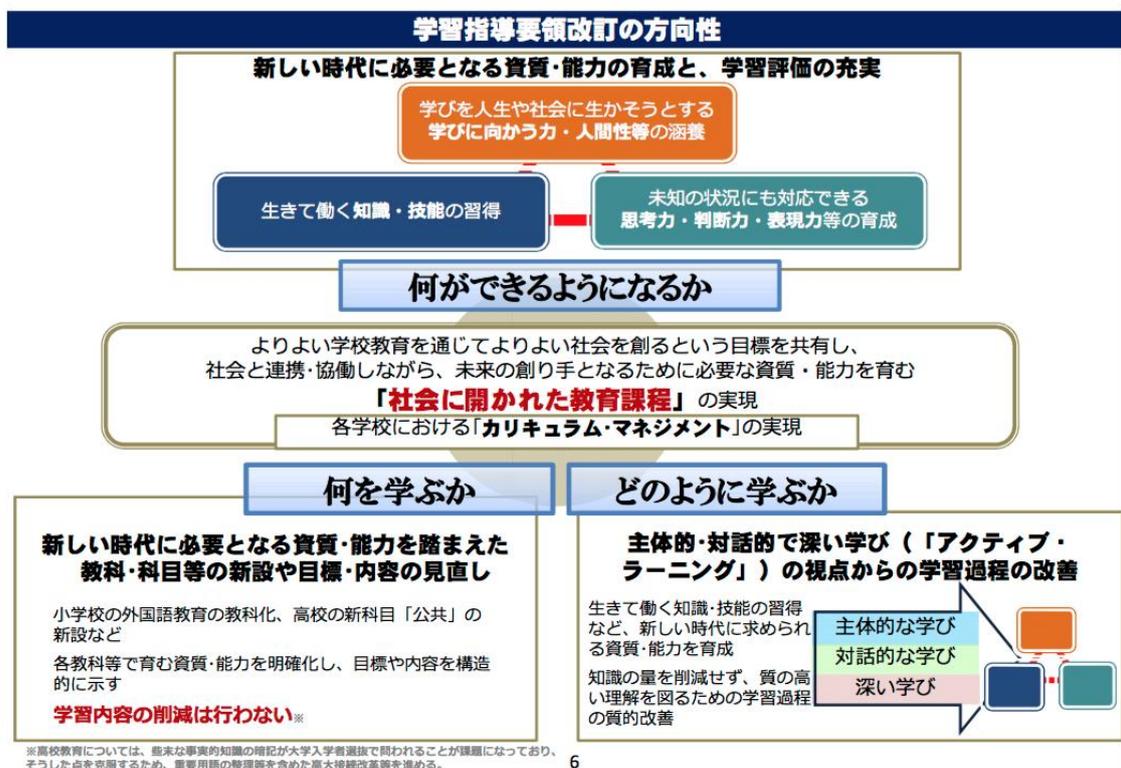
一志中学校 × おやつカンパニー

企業と「学び」でつながる

学びスター育成プロジェクト

(新学習指導要領の目指す3つの視点)

- 「主体的な学び」
学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」が実現できているか。
- 「対話的な学び」
子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できているか。
- 「深い学び」
習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、**知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすること**に向かう「深い学び」が実現できているか。



子どもたちにつけたい2つの力

課題解決力

(どのような手立てで課題を解決するかその見通しを立て、実践する)

創造力(課題を把握した上で、よりよいものをクリエイトする)

①授業

- ・「キャラクターに込められた作者の思い」を知り、実際にキャラクター作成を行う(美術)
- ・「お客様相談センター」に寄せられた声を分析し、どのような提案・改善ができるかを考える(社会・家庭)
- ・創業者の思いに触れ、よりよく生きるためにはどうすればよいかを考える(道徳)
- ・各種データ(売り上げ、栄養価、原価率、システム)などを教材化し、各教科で「思考、判断」に関する問題を作成する。

②モニタリング

- ・新商品のモニタリングを行い、改善点を提示するようなどの体験を行う。
- ・ベビースターを使用したアイデアレシピを家族で考え、どのような工夫をしたかを競わせるコンテストを行う。
- ・「給食にベビースター」をテーマに、どのような工夫をすればベビースターを給食の献立に組み込めるかを考える
- ・海外の中学校との連携をはかり、中学生がベビースターを売りこむ作戦を考える

③自尊感情の向上

- ・企業連携シンポジウムを設定し、中学生のプレゼンテーションの機会を増やす。
- ・文化祭などをはじめ、学んだことを発信する場を設定する

④地元根ざしたキャリアの育成

- ・地元企業を誇りに思い、この地域で強く生きていこうとする態度を育む
- ・これからの一志町を主体的に背負って立つ、人材の育成